

千葉商科大学国府台学会会則（抜粋）

第 2 条 本会は、会員の研究助成とその発表普及を目的とする。

第 3 条 本会は、千葉商科大学の専任教員をもって組織する。

第 4 条 本会は、次の事業を行なう。

1. 機関誌『千葉商大論叢』『千葉商大紀要』の発行。
2. 各種研究会・講演会の開催。
3. その他本会の目的を達成するために適当と認められる事業。

第 5 条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 学長がこれにあたる。
2. 運営委員長 運営委員の互選による。
3. 運営委員若干名 会員総会で選出され任期は1年とし本会の事務を分担する。

前 号 目 次

論 説

羅針盤は進化する — 合意形成論序説 —	藤 川 吉 美(1)
ソフトカー [走行能力設定・表示車] の 社会的受容基盤の形成：その成果と展望 (上)	小 栗 幸 夫(11)
日系多国籍企業の知識マネジメント — YKKと東芝のケースを中心に —	桑 名 義 晴 山 本 崇 雄(51)
商業調整政策の特殊性とその背景 — 小振法と大店法の運用にみる調整の時代における商業政策の評価 (その②) —	番 場 博 之(75)
組織的知識創造理論の理論的前提	加 藤 久 明(89)

研究ノート

マーケティング・リサーチ研究 (3)	陸 正(109)
--------------------	----------

書 評

新川正子著『建設外注費の理論』	佐 藤 正 雄(123)
-----------------	--------------